

甚小だより



あま市立甚目寺小学校
8号
平成26年3月7日

学校評議員会の開催 — 学校評価と次年度に向けて —

3月3日(月)に学校評議員会を開催しました。本校の評議員は、学校関係者と地区在住者の4名で構成されています。年間通して学校の教育活動に接していただいています。評議員会では、学校教育活動や学校評価をもとにご意見を伺っています。以下は学校評価です。

《評価概要》

評価形式：無記名 各項目4段階評価

4 とてもそう思う 3 少しそう思う 2 あまりそう思わない 1 全くそう思わない

※ 平均評価から傾向を考察

評価者：4～6年児童、保護者、教職員、学校評議員

評価時期：平成26年1月



甚目寺観音節分会に参加

【108名の6年生意識調査】 数値は「はい」と答えた児童の%

節分会に参加してよかったですか	100%
大人になったら地域行事を続けていきたいですか	96%
甚目寺の伝統行事は誇れる行事ですか	85%
地域の行事に声がかかれば、手伝いをしようと思いませんか	87%

平成26年2月 調査

《評価結果》

【学校生活】

		H25	H24
児童	学校生活は楽しいと思いますか。	3.38	3.40
保護者	お子さんは、学校生活を楽しんでいると思いますか。	3.54	3.70
教職員	あなたは、児童が楽しい学校生活を送れるように教育活動を実践しましたか。	3.43	3.62

【家庭への連絡】

児童	先生達は、家への連絡やお知らせをきちんとしていてくれると思いますか。	3.44	3.44
保護者	教師は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っていると思いますか。	3.22	3.34
教職員	あなたは、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っていますか。	3.48	3.43

【わかりやすい授業】

児童	先生は、わかりやすい授業をするように努力していると思いますか。	3.57	3.55
教職員	あなたは、わかりやすい授業の実践に努めていますか。	3.29	3.38

【授業の工夫①】

児童	先生は、あなたが授業に集中できるような工夫をしていると思いますか。	3.15	3.16
教職員	あなたは、児童が授業に集中できるような工夫をしていると思いますか。	3.24	3.19

【授業の工夫②】

児童	先生は、あなたの思いや考えをどんどん発表したくなる工夫をしていると思いますか。	2.97	3.00
教職員	あなたは、児童が思いや考えを意欲的に発表する工夫をしていますか。	3.14	3.00

- 学校生活については、児童・保護者・教職員の三者とも、「とてもそう思う」回答が多く、楽しい学校生活を送れていると、高く評価されています。
- 教師のわかりやすい授業に対する取り組みは、児童からは高く評価されています。
- 本年度は、話し合い活動に力を入れて生活科・総合的な学習の時間や算数などの授業を工夫してきましたが、十分ではないようです。話し合い活動の場面に偏りがあり、児童の意欲を引き出せなかった様子がうかがわれます。



保育園児を招いての総合発表会(1年)

【今後の取り組み】

- 更なる話し合い活動の実践を継続して取り組み、道徳など話し合いの場を広めていきます。
- 授業に対する意欲が高まるようにICTの活用も視野に入れ、児童が集中して授業に取り組める工夫を模索していきます。

【生活指導・生徒指導①】

H25 H24

児童	あなたは、元気よくあいさつをしていますか。	3.05	3.14
保護者	お子さんは、元気よくあいさつをしていますか。	3.00	3.32
教職員	あなたは、児童が積極的にあいさつするような指導に取り組んできましたか。	3.48	3.43

【生活指導・生徒指導②】

児童	先生は、いじめのない楽しい学級づくりに、つとめていると思いますか。	3.37	3.46
保護者	教師は、いじめのない楽しい学級づくりに努めていると思いますか。	3.35	3.40
教職員	あなたは、いじめのない楽しい学級づくりに努めていますか。	3.57	3.62

【人権教育①】

児童	あなたは、クラスの人や友だちの気持ちを大切に生活していると思いますか。	3.38	3.40
保護者	お子さんは、クラスの人や友達を大切に生活していると思いますか。	3.39	3.47
教職員	あなたは、学級の人や友達を大切に生活するような児童の育成に努めましたか。	3.43	3.62

【人権教育②】

児童	あなたは、言葉づかいに気をつけて生活していると思いますか。	2.96	2.86
保護者	お子さんは、言葉遣いに気をつけて生活していると思いますか。	2.78	2.94
教職員	あなたは、児童が言葉遣いに気をつけて生活するような児童の育成に努めましたか。	3.38	3.19

- あいさつについて、児童・保護者は厳しく自己評価をしています。しかし、昨年あたりから会釈をしながら挨拶できる児童が増えました。
- いじめのない学級づくりについては、児童の意識、保護者の見方、教師の指導とも高い評価になっています。人権教育の取り組みが着実に積み重ねられていることと思われます。
- 正しい言葉遣いをしましょうと学校では、指導していますが、児童自身の自己評価は、昨年より意識できるようになりました。学校生活から離れたときの言葉の乱れが、保護者評価に反映していると思われます。



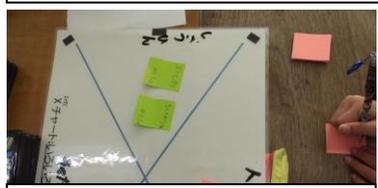
KJ法による総合的な学習の時間の話し合い

【今後の取り組み】

- コミュニケーションスキルを高めるために、アサーショントレーニングやハッピートークトレーニングの実践をさらに充実させていきます。また、価値観に関する話し合い活動を取り入れ、互いの考えを認めていく活動を重視していきます。さらに機会を見つけては、ペア学年での取り組みを充実させ、人とかかわる場を増やしていきます。



どうしたいかを話し合う生活科の授業



Xチャートを活用した意見の区分け

【校内研究】

H25

教職員	ESD・ユネスコスクールの充実した取り組み	3.32
	授業研究の充実した取り組み	3.39
	言語活動の充実した取り組み	3.21

- 本校の特色でもあるESDの取り組みについては、意欲的に取り組みがなされた結果が出ています。また、年間通した授業研究(算数・総合学習)の取り組みや「聞く」→「話す」→「話し合う」活動の充実については、おおむねよい評価となっています。

【今後の取り組み】

今年度はESDの視点に立った授業公開を積極的に進めてきました。来年度は、総合と関連させた道徳の授業における話し合い活動も視野に入れて取り組んでいく予定です。

《学校評議員会の会議録より》

※ 学校評価を示し意見交換 平成26年3月3日開催

- 地域のことを大切に学校全体で取り組まれている。子どもたちには社会に出たとき、どんな役に立つかを見据えて今後も進めていけるとよい。
- 一部の子どもたちの活躍に終わらず、誰もが活躍できる場を大切にしながら進めてほしい。
- ESDのPRをもっとしてもよい。ESDの発表に係わった子どもたちが積極的になった話を保護者から聞いている。